

Campagnolo[®]

11TM
SPEED

ERGOPOWERTM

EPSTM

CONTROL LEVERS



警告!

この取扱説明書の指示をよく読んで、理解し、従ってください。この取扱説明書は製品の重要な一部です。いつでも参照できるように安全な場所に保管してください。

メカニックの資格 - 自転車に関する多くの点検や補修作業には、特別な知識や工具、経験が必要になります。一般的な機械に対する知識だけでは、正しく自転車を点検したり、補修したりするためには十分とはいえません。ご自身の点検、補修の能力について少しでも疑問があれば、適切な技術のある販売店にご相談ください。

「事故」 - この取扱説明書の中では一貫して、「事故」が起こる可能性について言及しています。どんな事故でも、自転車やその構成部品を損傷させる可能性があります。それ以上に重要なことは、運転者や第三者に重大な身体損傷を負わせたり、死亡の原因になる可能性があるということです。

想定された使用 - カンパニョーロ®製品は、平滑な道路や自転車競技用走路を走るロードレース用自転車にのみ使用されるように設計、製造されています。この製品をそれ以外のオフロードやトレイルで使用することは禁じられています。

製品寿命 - 磨耗 - 点検の必要性 - カンパニョーロ®構成部品の製品寿命は、ライダーの体格、乗車する条件など、多くの要因に左右されます。一般的に、衝撃、落車、不適切な使用、過酷な使用は、構成部品の完成された構造を傷つけ、製品寿命を著しく縮めることとなります。構成部品の中には時間が経つと消耗するものもあります。自転車に亀裂や変形、疲労や消耗の兆候がないか、適切なメカニックによって定期的に検査してください。検査によって変形や亀裂、衝撃や圧力を受けた跡が見つかった場合、それがどんなに小さいものでも、すぐにその構成部品を交換してください。過度に疲労した構成部品もすぐに交換してください。検査の頻度は多くの要素に左右されます。カンパニョーロ®正規販売店で、適切なスケジュールを確認してください。体重が82Kg（180lbs）以上ある場合は特に注意し、それ以下の場合よりも頻繁に、亀裂や変形の形跡、その他の疲労や圧力を受けた兆候がないかを検査する必要があります。選択した構成部品が使用目的に合っているか、どれくらいの頻度で検査を行うかを決めるにあたっては、カンパニョーロ®正規販売店にご相談ください。

性能、安全性、ワランティに関する重要なお知らせ - EPSドライブレインの性能を最大に引き出し、安全性、性能、耐久性、機能性を損なわないために、EPSドライブレインの6つの構成部品は、カンパニョーロ®11スピードの機械式ドライブレインの構成部品と共に使用する必要があります。カンパニョーロ®が製造したものではないEPS構成部品を使用することはできません。

注意: カンパニョーロ®製品に類似した構成部品用として、他製造元が供給している工具の中には、カンパニョーロ®構成部品に合わないものがあります。同様に、カンパニョーロ®s.r.l.が供給している工具の中には、他製造元の構成部品に使えない場合があります。ある製造元によって供給されている工具を他製造元の構成部品に使用する前には、必ず正規販売店、または工具製造元にその適合性をご確認ください。

このカンパニョーロ®製品を利用する使用者は、自転車の乗車には固有のリスクがあることを明確に認識するものとします。この危険には、自転車の構成部品が故障し、事故や怪我、死亡を招く危険も含まれます（ただしこれに限定されません）。使用者は、カンパニョーロ®製品を購入し、使用することで、明白にかつ自主的、承知の上で、カンパニョーロ®s.r.l.の受動的、能動的過失、または隠れた、潜在的な、または明白な製品瑕疵に限定されない、これらのリスクを受け入れ、または認識していることになります。そして、結果として生ずるいかなる損害に対しても、法律によって許されている最大限の範囲で、カンパニョーロ®s.r.l.が保護されていることに同意しています。

1. ハンドル・バーへの取り付け位置

構成部品を取り付けたり、取り外したり、また調整する際には、EPS パワー・ユニットの取扱説明書を参照し、EPS ドライブトレインの電源をオフにしてください。

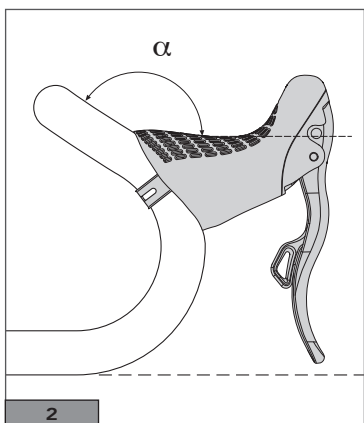
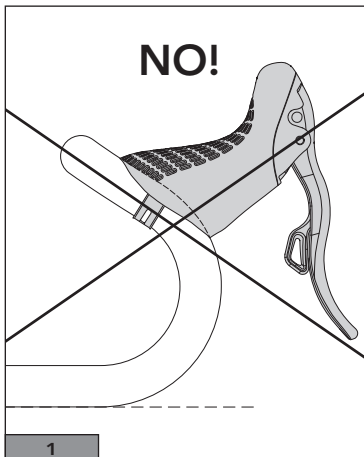
・ EPSエルゴパワー™ をハンドル・バーの真っ直ぐな部分に取り付けしないでください (図1)。

・ ハンドル・バーのEPSエルゴパワー™ を取り付ける部分が、十分に粗い表面を持ち、しっかりと固定できることを確認します。

⚠ 警告!

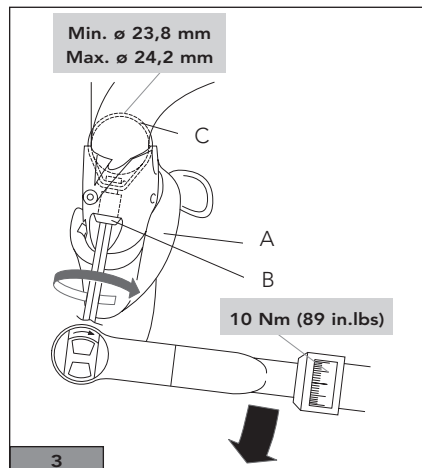
EPSエルゴパワー™ が正しく取り付けられていないと、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

・ 角度が十分に大きく、EPSエルゴパワー™ が正しく取り付けられ、それに伴うケーブルの取り回しが滑らかに行えることを確認します (図2)。



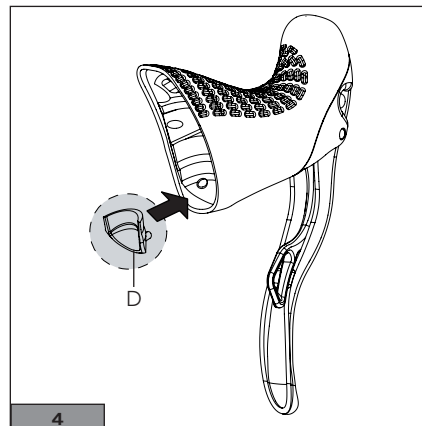
・ ブラケット・カバー (A - 図3) をめくり、ねじ (B - 図3) を露出させます。

・ ボディの上部にあるねじ (B - 図3) を緩め、パー・テープを巻いていない状態のハンドル・バーに固定バンド (C - 図3) を差し込みます。その際、固定バンドをEPSエルゴパワー™ から外さないようにします。



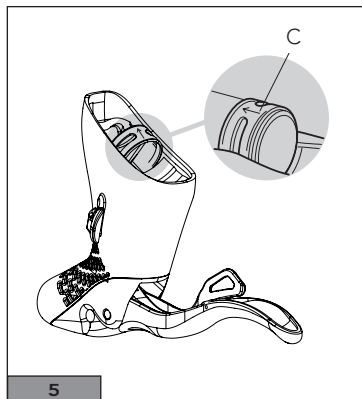
EPSエルゴパワー™ のエルゴノミック形状は、インサート (D - 図4) を挿入することで、大きい手の人にも適応します。

・ ハンドル・バーに取り付ける前に、インサートをEPSエルゴパワー™ の付け根部分に差し込みます (図4)。

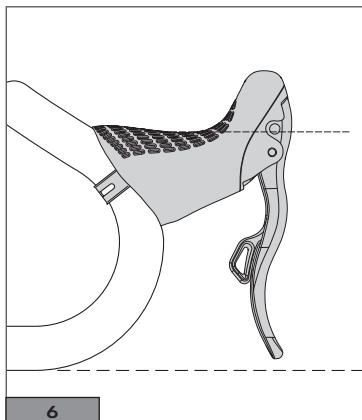


取付バンドに付いている矢印がEPSエルゴパワー™ の上部を指していることを確認します (C - 図5)。

・ ブラケット・カバーを完全に外してしまった場合は、内側にアルコールを少し付けると、EPSエルゴパワー™ に取り付けやすくなります。

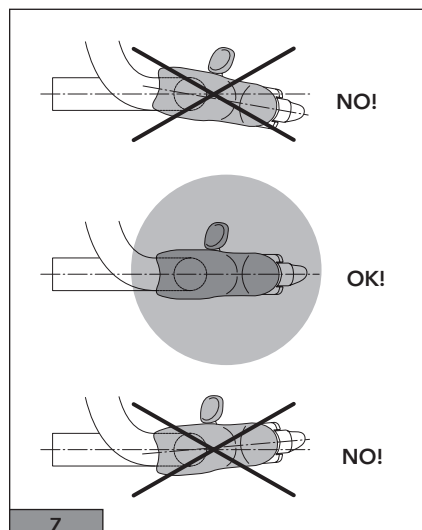


・ EPSエルゴパワー™ をハンドル・バーの曲がった部分に取り付け、ハンドル・バーとブラケット上部がまっすぐになるようにします (図6)。



- EPSエルゴパワー™ は自転車のエアロダイナミクスを妨げないように、正しい方向に装着します (図7)。

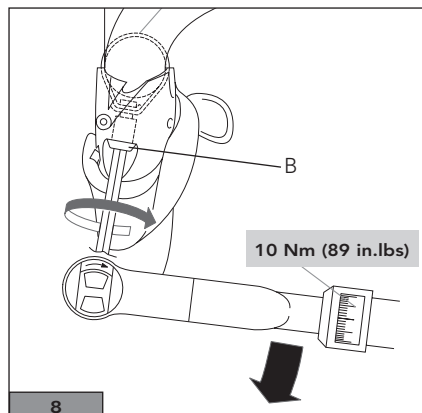
・ トルクレンチを使用し、ねじを10 Nm (89 in.lbs) のトルクで締め付け (B - 図8)、EPSエルゴパワー™ をハンドル・バーに固定します。



⚠ 警告!

カーボン・ファイバー製ハンドル・バーを使用する際は、フレーム製造元に連絡し、10 Nm (89 in.lbs) の締め付けトルクを掛けても問題ないことを確認してください。または、ハンドル・バーを損傷から守るために、何らかの対策を取る必要があるかどうかを確認してください。

カーボン・ファイバー製ハンドル・バーの損傷は、それがわずかなものであっても、予期しない破損を引き起こし、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

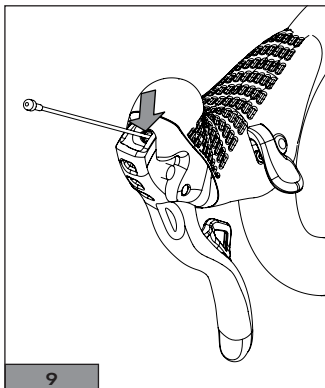


1.1 - リア・ブレーキ インナー・ケーブルとアウター・ケーブル

・ ブレーキ・ケーブル（長さ1,600 mm - $\phi 1.6$ mm）をEPSエルゴパワー™のブレーキ・レバーにあるボール・ブッシュに通し、ケーブルのストップ・ヘッド（たいこ）が適正な位置に収まっていることを確認します（図9）。

・ フレームによっては、リア・ブレーキアウター・ケーブル（長さ1,250 mm - $\phi 4.9$ mm）をカットし、ケーブル・エンド（ $\phi 6$ mm、別売）を付ける必要があります。

・ アウター・ケーブル（ケーブル・エンドなし）を、ブレーキ・アウター・ケーブル・リテーナーに通し、インナー・ケーブルをブレーキに固定します（ブレーキの取扱説明書をご覧ください）。



1.2 - フロント・ブレーキ インナー・ケーブルとアウター・ケーブル

・ ブレーキ・インナー・ケーブル（長さ800 mm - 直径1.6 mm）をEPSエルゴパワー™のブレーキ・レバーにあるボール・ブッシュに差し込み、ケーブル・ストップ・ヘッドが正しく収まっていることを確認します（図9）。

・ アウター・ケーブル（長さ580 mm - $\phi 5$ mm）を、ブレーキ・アウター・ケーブル・リテーナーに通し（ケーブル・エンドなし）、インナー・ケーブルをブレーキに固定します（ブレーキの取扱説明書をご覧ください）。

⚠ 警告!

装着後、ワイヤーやブレーキ・ケーブルが、ヘッドセットや自転車の他の部品の動きを妨げていないことを確認してください。もし何らかの妨げがあると、自転車の方向転換や操作に影響を与え、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

⚠ 警告!

カンパニョーロ®正規サービスセンター、カンパニョーロ®正規プロ・ショップ、EPSグループセットを組み付ける資格のある専門のメカニックだけが、EPSエルゴパワー™を取り付け、接続することができます。

改造や不適切、不完全な取り付けを行うと、たとえそれがひとつのEPSグループセットの構成部品であっても、自動的に限定保証が無効になります。

⚠ 専門メカニックの方への注意!

EPSドライブトレインのすべての取り付け、取り外し、調整、メンテナンス作業は、EPS取扱説明書に記載されています。取扱説明書は、インターネット・サイト www.campagnolo.com から、PDFフォーマットでダウンロードすることができます。

1.3 - バー・テープの巻き方

- ・ ブラケット・カバーをめくります。
- ・ ハンドル・バーにテープを巻きます。

⚠ 警告!

EPSエルゴパワー™ が正しく動作しないと、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

- ・ ブラケット・カバーを元の位置に戻します。

⚠ 警告!

EPSエルゴパワー™ を初めて公道で使う場合、使い方に慣れるまで、車の走っていない安全な場所で乗車してください。操作方法を知らずに使用すると、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

2. 操作方法

・ レバー (A - 図10) はブレーキの操作を制御します。

・ 左側のレバー (B - 図10) はフロント・ディレイラーを動作させ、チェーンをアウター・チェーンリングに動かします。

・ 左側のレバー (C - 図10) はフロント・ディレイラーを動作させ、チェーンをインナー・チェーンリングに動かします。

・ フロント・ディレイラーはチェーンリングとスプロケットの位置に応じて、自動的にフォークを最適な位置に動かします。

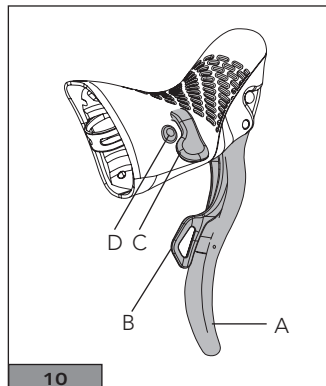
・ 右側のレバー (B - 図11) はリア・ディレイラーを動作させ、チェーンを大きいスプロケットに動かします。

・ 右側のレバー (C - 図11) はリア・ディレイラーを動作させ、チェーンを小さいスプロケットに動かします。

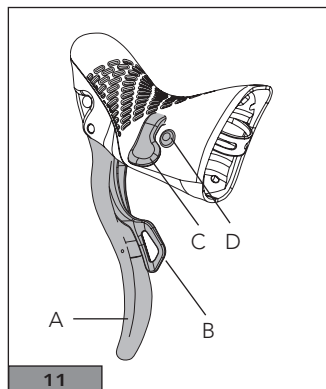
・ 右側のレバー (B - 図11) を押し続けると、大きいスプロケット側に連続して多段変速することができます。

・ 右側のレバー (C - 図11) を押し続けると、小さいスプロケット側に連続して多段変速することができます。

・ 両方のエルゴパワー™ にあるモード・ボタン (D - 図10 / 11) のひとつを短く押すと、インターフェースのLEDでバッテリーの充電状態を確認することができます。



10



11

2つのレバー (B - 図10 / 11) (C - 図10 / 11) は、ハンドル・バーの上の部分握っても、下の部分握っても操作することができます。更に、EPSエルゴパワー™ はブレーキ・レバーを操作しながら、変速することもできます。

2.1 - ライディング・セッティングとゼロ・セッティング

・ 左右のEPSエルゴパワー™ にあるモード・ボタン (D - 図10 / 11) を約6秒間押し、フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーの基準となる位置を調整します (EPSフロント・ディレイラーとEPSリア・ディレイラーの取扱説明書をご覧ください)。

・ 左右のEPSエルゴパワー™ にあるモード・ボタン (D - 図10 / 11) を同時に約6秒間押し、フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーの基準となる位置をゼロにリセットします。



警告!

乗車中にフロント・ディレイラーとリア・ディレイラーのセッティングを行うと、危険な状況を引き起こし、事故の原因になることがあります。そのため、その作業を行う際は十分に注意してください。

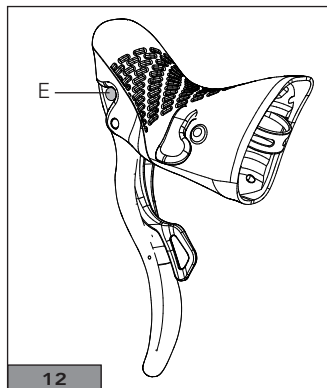


警告!

フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーをゼロ・ポジションにリセットする作業は非常に繊細ですので、必ず自転車スタンドに固定した状態で行う必要があります。そのため、カンパニョーロ®正規サービスセンター、カンパニョーロ®正規プロショップ、またはEPSグループセットを組み付ける資格のある専門のメカニックが作業することをお勧めします。

注意

EPSエルゴパワー™ には、ブレーキ・レバーの部分にリリース・ボタン（E - 図12）が付いており、エルゴパワー™ を通じて直接ブレーキ・キャリパーを広げ、ホイールのメンテナンス作業を行うことができます。



12

3. 取り外し

構成部品を取り付けたり、取り外したり、また調整する際には、EPS パワー・ユニットの取扱説明書を参照し、EPS ドライブトレインの電源をオフにしてください。

**警告！**

カンパニョーロ®正規サービスセンター、カンパニョーロ®正規プロ・ショップ、EPS グループセットを組み付ける資格のある専門のメカニックだけが、EPSエルゴパワー™ を取り外すことができます。

4. メンテナンス

- ・ EPSエルゴパワー™ は3年ごと、あるいは、30,000 Km走行すること、必ず専門のメカニックによる点検を受けなければなりません。ブレーキのインナー・ケーブルとアウター・ケーブルは2年ごと、あるいは、20,000 Km走行すること、必ず交換してください。
- ・ EPSエルゴパワー™ をプロフェッショナル・レベルで使用する場合、専門のメカニックによって点検を受ける必要があります。ブレーキのインナー・ケーブルとアウター・ケーブルは1年ごと、あるいは、15,000 Km走行すること、必ず交換してください。
- ・ ここに示した点検の期間はひとつの指標であり、使用状況や乗車の強度（例えば、プロフェッショナル・トレーニング、雨、泥、冬の道路の塩分、ライダーの体重などが重要な要素になります）によって大きく影響を受けることがあります。ライダーに最も合った点検のスケジュールについては、専門のメカニックにご相談ください。
- ・ EPSエルゴパワー™ は決して水の中に入れないでください。圧力を掛けた水で、自転車を洗淨しないでください。圧力を掛けた水は、たとえガーデン用ホースのノズルからでも、カンパニョーロ®構成部品のシールを抜けて中に浸水し、修理不可能な損傷を与えることがあります。自転車とカンパニョーロ®構成部品は、水と自然な石鹸でやさしく洗淨してください。やわらかい布で拭き、すみずみまで乾燥させてください。研磨剤や金属スポンジは絶対に使用しないでください。

**警告！**

塩分の多い環境（冬の道路や海に近い場所）は、多くの自転車部品を腐食させる原因になります。損傷や動作不良、事故を避けるためにも、きれいに洗淨して汚れを落とし、乾燥させた後、対象となるすべての構成部品に注油してください。